

2010 年度報告書（研究員）

氏 名	五十嵐誠一
職 位	京都大学グローバル COE 研究員（2010 年 4 月～6 月） 千葉大学法経学部専任講師（2010 年 7 月～3 月）
研究概要	<p>本年度は、科学研究費補助金・基盤 C「東アジアの地域主義と市民社会」の最終年度であり、その研究計画に従い、移民労働に関わるトランスナショナルな市民社会組織の実態調査に取り組んだ。膨大な一次資料の精読と関係者への聞き取り調査を通じて、東南アジアでは移民労働の問題に関わるトランスナショナルな市民社会ネットワークが重層的に形成され、それらが新自由主義に修正を迫るダイナミズムとして機能しつつあることを把握した。また、東南アジアのサブ・リージョンであるメコン地域に特化した研究調査によって、そこでは国際機関、国家政府、NGO という複数の主体によってリージョナル・ガバナンスが形成されつつあること、その中でも国際機関と NGO との協働関係が予想以上に進んでいることが明らかとなった。以上の研究調査に基づき、10 月には日本国際政治学会の部会、11 月には京都大学グローバル COE の第 3 回コアプロジェクトで、東南アジアの移民労働とトランスナショナル市民社会に関する口頭報告を行った。また、移民労働の分野を含め東南アジアのトランスナショナル市民社会の活動実体を批判的国際関係論の立場から論じた拙稿が、日本国際政治学会より第 3 回学会奨励賞を受賞した。以上の研究に加え、昨年度から引き続いて博士論文の出版準備を進め、3 月末に早稲田大学出版部より早稲田大学学術叢書としてフィリピンの市民社会の実態を詳細に捉えた『民主化と市民社会の新地平ーフィリピン政治のダイナミズムー』を公表した。</p>
業績リスト（著書、論文、報告、その他に分けて主要なものを記入する）	<p><b>著書（単著）</b> 五十嵐誠一『民主化と市民社会の新地平ーフィリピン政治のダイナミズムー』早稲田大学出版部、2011 年 3 月 30 日</p> <p><b>報告（学会）</b> 五十嵐誠一「ASEAN 共同体形成におけるトランスナショナルな市民社会の地平ー移民労働者をめぐる下からの「オルターナティブな地域主義」の可能性と限界ー」日本国際政治学会 2010 年度研究大会、2010 年 10 月 30 日、札幌コンベンションセンター</p> <p><b>報告（研究会）</b> 五十嵐誠一「東南アジアの移民労働者と市民的公共圏の再編ートランスナショナル市民社会の政策関与の実態と課題」京都大学大学院文学研究科グローバル COE「親密圏と公共圏の再編成をめざすアジア拠点」、第 3 回コアプロジェクト研究会、2010 年 11 月 26 日、京都大学</p> <p><b>その他（ニュースレター）</b> 五十嵐誠一「市民的公共圏」『Intimate and Public』Vol. 5, 2010 年 11 月、10 頁</p>

その他（新聞）

五十嵐誠一「ひずみ正す頼もしいNGO」『朝日新聞』2010年11月17日、オピニオン欄、  
17面